



一般社団法人 抗認知症薬の適量処方を実現する会

実践的認知症セミナー

認知症の症状は進行するにつれ変化しますので、初期診断や治療方法を固定化することは危険です。また病型により薬の影響が大きく異なりますので、認知症の治療においては病型を鑑別し、混合の状態を見極めて患者さんの状態を正確に把握して、薬剤の選択と量の調整を適切に行うことが重要とされています。

今回のセミナーでは座長に荏原太先生をお迎えし、中坂義邦先生と平川亘先生に「高齢者の認知症は混合型である」を前提とした簡単な診察方法のポイントや、薬剤処方の留意点と投与のコツなどを「抗認知症薬の副作用」「抗認知症薬の少量投与」「認知症の治療方法」のテーマごとにシンプル且つ具体的にわかりやすくお話いただきます。医師、コ・メディカル、患者さん、ご家族の方まで幅広くご参加ください。

座長 荏原太先生 (医療法人すこやか 高田中央病院 院長)

基調講演

「抗認知症薬の副作用と目的に合った使用方法について」

講師 中坂義邦先生 (新横浜フォレストクリニック院長・神経内科専門医)

パーキンソン病や認知症などに対する薬の不適切な多剤併用処方で病状悪化しているケースを適正化する目的で2年前に開業。抗認知症薬以外にも様々な薬剤の重大な副作用の問題を啓発する事をスローガンとしている。

特別講演

「認知症のかんたん診断と治療」

講師 平川亘先生 (誠弘会 池袋病院 副院長)

リバスチグミン使用では日本トップクラスを誇り、様々な手法で認知症治療を行い、他で断られた認知症患者さんも数多く受け入れ改善させている。地域医療に貢献することを常に心がけ、認知症駆け込み寺として日々忙しい毎日を送られている。



開催日:2016年 10月15日(土)

開催時間 午後5時～午後7時 (開場:午後4時30分)

会場 岩崎学園新横浜1号館 リバブルホール
横浜市港北区新横浜2-4-10 横浜医療情報専門学校 8階

対象 認知症に関心がある方

定員 事前申込制 **300名** (先着順)

参加費 **1,000円** (テキスト代込み 当日受付でお支払ください)

締切 2016年10月12日(水)(定員になり次第締め切り)

申込方法 裏面をご覧ください

地図



JR新横浜駅北口徒歩3分
市営地下鉄新横浜駅8番出口徒歩1分

主催:一般社団法人 抗認知症薬の適量処方を実現する会 共催:認知症を学ぶ会 株式会社グロービア

■お問い合わせ先:(社)抗認知症薬の適量処方を実現する会 TEL.03-5541-1445 info@tekiryo.jp

下記の必要事項をご記入の上、FAX (03-3206-1536) にてお申度いただくか、抗認知症薬の適量処方を実現する会のホームページ (<https://www.tekiryo.jp/events>) よりお申度ください。

9月下旬より参加証ハガキ(またはメール)をお送りします。複数名で申し込まれた場合は、まとめてお送りいたします。当日は参加証をお持ちの上お越しく下さい。参加証メールを受け取られた方は、印刷してお持ちの上お越しく下さい。

FAX : 03-3206-1536

抗認知症薬の適量処方を
実現する会のホームページ

<https://www.tekiryo.jp/events>

フリガナ ご氏名	お電話番号		
〒	—	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	※宛先不明で戻ってくる場合があります。勤務先の場合は必ず社名・施設名・建物名をお書きください。
参加証 ご送付先			
○で囲んでください。 よろしければ病院名・施設名 など所属先をお書きください。	・介護家族 ・介護従事者 ・介護支援専門員 ・医師 ・医療関係者 ・その他()	所 属	

※お客様より取得した個人情報については、目的以外での利用、及び無断での第三者への開示は一切いたしません。

抗認知症薬の増量による副作用の事例を募集いたします

認知症の人は身長、体重、身体状況、さらに薬剤への反応性に大きな個人差があり、ネットワーク臓器である脳の神経伝達物質に作用するドネペジル(アリセプト)をはじめとした抗認知症薬は個別性への細かな配慮が求められます。

しかし、これらの抗認知症薬には添付文書による事実上の増量規定があり、医師の裁量が認められないため、薬剤過敏により惹起された副作用(易怒、歩行障害、嘔吐など)が決して少なくないことが医療・介護現場から数多く報告されています。

当会では、抗認知症薬の増量が原因と思われる副作用により症状(周辺症状を含む)が悪化した患者さんのご家族、及びそのような患者さんを診察した医師やコ・メディカル、介護に携わる関係者の方々から、副作用にいたる経緯や状況の事例報告を募っています。

皆さまからいただいた事例をもとに、認知症医療の改善にかかわる何らかの通達を発出してもらうよう厚生労働省に働きかけをしております。

抗認知症薬を増量したことで、かえって医療や介護が困難になった事例を体験された医師、コ・メディカル、患者さんご家族、介護に携わる皆さまからの事例のご報告をお待ちしています。

報告は当会ホームページの「事例報告」のページからお願いします。

<https://www.tekiryo.jp/case/>

FAX事例報告用紙を印刷して、FAXでお送りいただくこともできます。

詳しくは、「投稿方法」をご覧ください。



一般社団法人

抗認知症薬の適量処方を実現する会

一般社団法人抗認知症薬の適量処方を実現する会は、抗認知症薬の事実上の増量強制をはじめとした認知症医療・介護の問題点を調査研究し、ひろく世に知らしめるための広報啓発活動と政策提言を行い、超高齢社会を迎えつつある我が国の認知症医療が国民にとって真に資するものとなることに寄与することを目的として、平成27年9月11日に設立されました。

■お問合せ先:事務局 東京都中央区新川2-9-6 7F

Tel: 03-5541-1445 Fax: 03-3206-1536 E-mail: info@tekiryo.jp